



# 森ボラ 通信

第201号 2019年2月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: [hshinrin2002@nifty.com](mailto:hshinrin2002@nifty.com)

## トピックス

### ◆1月の冬季セミナー開催

1月18日に札幌エルプラザにおいて冬季セミナーが開催されました。

#### 【会員例会】

会員の酒井さん、矢野さんを講師に「伐木安全講習・机上編」を行いました。これは会員への伝達講習となります。酒井さんからは「最近、協会活動に伴う事故が多くなっている」と、事例を挙げて対策を話し合いました。矢野さんからは12月に受けた「伐木等の業務に係る特別講習(大径木)」の内容と留意点を述べられました。

詳細な内容は「ボラ通1月号」に掲載されています。ここではチェーンソーの刃の研ぎ方で、ヤスリホルダー角度について、水平か、上向き10°かで話し合われましたが、刃の種類によって違うので注意するようにとの事でした。今後もこのような安全講習を継続して行い、会員の技術向上を図りましょう。

#### 【講演】

この日の講演は「ユネスコ寺子屋活動カンボジア報告」と題して、札幌ユネスコ協会 寺子屋プロジェクトチームリーダー 中村康江さんをお願いしました。中村さんは支笏湖烏柵舞の森で開かれる「植(育)樹祭」には毎年大勢の仲間と共に参加され、当会の活動に理解と支援を続けています。講演には当会員の他に札幌ユネスコ協会から3名が参加されました。

日本ユネスコ協会連盟は「戦争は人の心の中で生まれることから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」のユネスコ憲章に感銘を受けた日本の人びとによって1947年に設立された日本のNGOです。

世界寺子屋運動は、基礎教育をすべての人に届けることを目的にしています。世界には母国語の読み書きや計算ができない非識字者が8億3100万人います。この運動は1989年に始まり、43か国240万人以上の人びとに教育の機会を提供してきました。

カンボジアでは、首都プノンペンから飛行機で45分のシュムリアップ州での活動を報告されました。ここでは寺子屋を拠点に農村地域に暮らす人々にノンフォーマル教育を提供することを目的にアンコール寺子屋プロジェクトとして2006年に開始しています。識字教育やコミュニティ幼稚園、図書室、収入向上プログラム、人材育成などを中心として地域の人びとによって設立、運営されています。このプロジェクトは、人々の暮らしの質を向上させるために地域の資源を結集し、それを最大限に活用して、地域の活力向上を図ることを目指しています。講演では寺子屋の様子を写真で見せてもらい、大人から子供まで生き生きとした目と笑顔でしっかり勉強している様子がうかがえ、自分の怠惰な生活が恥ずかしく感じました。中村さんには貴重なお話をありがとうございました。(事務局)



## ◆澄川南小学校3年生冬の森観察会

2月4日、昨年秋に選木したマイツリー観察に3年生68名(2名欠席)、学年先生(2名)と教頭先生が10:00に澄川環境林にやってきました。



環境林北入口でスノーシューを履き、以前は経験が少ない為か手こずり時間がかかっていましたが、今回は学校でも練習をしてきてわりとスムーズに履き終えていざ森へ。

道すがら動物の足跡があるかなと思いましたがキツネだけで動物に取って棲みづらくなっているのかな？

又、事前に危険木処理、雪踏みを行っていたので予定通り運び各グループごとに冬のマイツリー観察と樹名板が無事なことを確認し

順次、キタコブシ、ミズナラ、ホオノキの冬芽や樹の特徴の話を協会の方から説明を受け、来たルートを帰り12:00前に観察会を終えました。

今回、観察会ルート上の危険木は処理していましたが肝心のマイツリーエリアを確認していませんでした。あるグループのマイツリーに小枝が懸かっており、一定時間留まるところで落枝の確率も高くなる場所は、特に確認を欠かさない様に今後注意をしなければと思いました。(文・大窪)

## ◆=四季折々に姿を変える、森に魅せられて=

この春で、入会していつの間にか丸4年が経過します。私の趣味の一つは写真撮影ですが、被写体は昔から”自然”が対象です。山、海、森、空、太陽、月・・・の日々移り行く姿を収めています。森ボラ入会の動機も、森の四季、そこで展開される木々や花々の物語を、身を感じながら、旬のショットを撮りたいと思ったからでもあります。無論ボランティア活動には以前から興味があり、その活動が自分の好きな自然が相手である事に、参加する度に喜びを感じています。



今回は撮り溜めた中から、四季の森の姿を写真でご披露させていただきます。春の森はヴィヴァルディの四季「春」の弾ける様なメロディが聴こえて来る様でウキウキします。進む小川のせせら



ぎ！夏の森は、隅々まで射し込む陽の光に躍動する季節です。木々の葉は緑を深くして、大小の動物、昆虫たちが活発に動き回ります。北国の夏は短く、9月に入ると高地の山々から紅葉の便りが届き、澄川の森の木々も日ごとに色付きを増します。そして冬！冬の森も魅力がいっぱいです。地表を覆う雪が、汚れなき純白の世界の舞台を用意して、晴れた日にはそこに写し出される木々の影。斜めから木々の間を縫う様に射し込む日の光、澄み渡る青空は、寒さを忘れる程に魅力的です。(文、写真：三橋 次郎)

ボラ通では今後会員撮影の四季折々の写真を季節ごとに掲載していきます。(事務局)

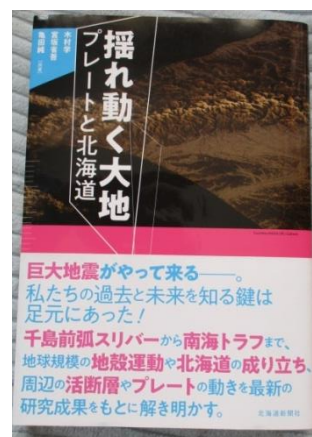
## ◆『森ボラ図書コーナー』図書の案内

今回は会員の大窪さん他の希望等により「森林・山村多面的機能発揮対策事業交付金」を活用して購入した図書を紹介します。閲覧、貸出し、今後の購入希望図書がありましたら市山、樞棒まで連絡をお願いします。(事務局)

### 森ボラ図書コーナー蔵書

番号	図 書 名	著 者	発行所	本体価格 (円)	購入年月日
57	『樹木たちの知られざる生活』	ペーター・ヴォールレーベン	(株)早川書房	700	2018/12/18
58	『がいなもん 松浦武四郎一代』	河路 和香	(株)小学館	1,700	2019/01/12
59	『揺れ動く大地-プレートと北海道』	木村学、宮坂省吾、亀田純	北海道新聞社	1,800	2019/01/12

※上表の 59 『揺れ動く大地—プレートと北海道』の共同著者は 3 月 13 日に開催される冬季セミナーの講師をお願いしました宮坂省吾さんです。宮坂さんのご厚意により同書を著者価格の 1,500 円でお分けすることになりましたので、活動参加申込書(3 月 13 日右欄)の著書購入に希望を記入してください。



## ◆冬芽の戦略

私たちは先生ではなく森ボラのおじさんおばさんですから冬芽に興味を持ってもらえばそれでいいわけです。大人になったときにふと思いでしてくれる子が何人かいればそれでいいわけです。芽を触らせる、梢を見せる、笑わせるなどして関心を引こうとしますが簡単ではありません。



私は古い人間ですからまず初めにこれは「ふゆめ」ではなく「とうが」といいます、夏に出る芽は「なつめ」ではなく「かが」ですなどと始めたらもう自分で自分を制御できなくなります。

春が来たら隣の木よりも早く葉を広げたいので前の年の夏から芽をもってじっと寒い冬を過ごしているのが冬芽の戦略なのだといいたいのですが 3 年生で分かるかなと考えているうちにハイ時間です。次回は「木はボケツと生きているようでも冬芽とか種の散布方法とか戦略をもって生きている」と直に言おうかとも思っています。

文科省の指導方針に「生きる力を育む」とありますがこれは学校でも家庭でも非常に難しいことで森林教室が最適だといわれます。子供にとって先生や親は縦の関係、友達や仲間が横の関係そして私達ボランティアの人たちは斜めの関係と言われます。

上から視線でなく一緒に森を歩き、自分で発見して、自分で驚きそれが少しでも記憶に残るよう一寸だけ手助けしたいのです。4 年生になって冬芽のことが試験問題に出たとき、大人になって森を歩いた時「そうだ森ボラのおばちゃん達と実際に触った」と記憶がよみがえることを願っています。(文・酒井)

## ◆「澄川の森」の芸術家たち

2018・11・28 活動日、澄川第二樹木園での成長調査中に見つかった「森の芸術家」たちの作品を発見。

直径 20cm ほどのシラカンバの雁皮を見事な四角形に切り開く様はお見事。またまの結果か、特技業か!?



この芸術家の子孫はこの技を継承できるか楽しみだが確認できないのが残念。  
この冬、この森に同じ型のデザインがいくつ見られるか観察しておきたい。(文・西野(備))

## ■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・檀棒・加藤・清澤・酒井・佐野・釣井・西野(備)・矢澤

1. ホームページ改修について：作業を継続して、4月から立上げる予定。(清澤、三橋、矢野)
2. 2019年3月、4月スケジュール：確認(3月幹事会3月6日)
3. 親子森林教室：2019年度親子会員新規：4名、継続：5名。さらに募集を継続
4. 確認事項
  - ・現場活動のヒヤリ・ハット対策：チェンソー操作者を班長とするグループに安全確認者を置く
5. 各専門委員報告
  - ・業務委員会：2019年度活動計画を了承。
  - ・冬季セミナー：
    - 3/13 会員例会：『多面関係及び各地の生長調査』(檀棒)
    - 講演：『揺れ動く大地—札幌は千島前弧西進の変形フロント』
    - (株)アイビー 地質情報室 理学博士 宮坂省吾さん
6. 現場対応他
  - ・2/26 「さっぽろ環境賞」授賞式に参加
  - ・2/27に変更 「観察会」 旧道探索(明治期の阿部林の作業道か?)
  - ・3/5 「澄川南小2年生 校内学習支援」：大窪、酒井他
7. その他
  - ・高額機材購入：チップパー、事務所用パソコン購入を承認
  - ・2019年1月会計報告及び年度末予想

## ■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
1月15日(火)	澄川	12	B-3区整理伐(手ノコ使用)、親子森林教室打合せ
1月18日(金)	冬季セミナー	20	会員例会(伐木安全講習)、講演『カボツア寺子屋』
1月20日(日)	澄川	10	B-3区整理伐
1月23日(水)	澄川	14	B-3区整理伐、親子森林教室準備
1月25日(金)	澄川	14	B-3区整理伐
1月28日(月)	澄川	12	B-3区整理伐、澄川南小活動準備
1月31日(木)	澄川	13	B-3区整理伐、E-5区整理伐(手ノコ使用)
2月2日(土)	澄川	10	E-5区整理伐(手ノコ使用)
2月4日(月)	澄川	15	E-5区整理伐(手ノコ使用)、澄川南小3年生マイツリ観察他
2月7日(木)	澄川	14	E-5区整理伐(手ノコ使用)
2月8日(金)	ラルズ生活研究C	13	幹事会
2月12日(火)	澄川	15	E-5区整理伐
2月13日(水)	札幌市民交流P	7	札幌市生物多様性フォーラム発表(酒井)